

準備をチェック!

防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープ、カイロなどを車に積んでおく



それでも車で外出するときは

どうしても外出しなくてはいけない場合、できるだけ公共交通機関を利用しましょう。やむを得ず車を使用する場合は、十分な準備が必要です。

ポイント

- ・外出前に、周囲の人に目的地や経路を伝えておきましょう。
- ・道路交通情報センター【短縮ダイヤル#8011】や吹雪視界情報ポータルサイトなどで道路状況を確認しておきましょう。
- ・天候の変化に応じた無理のない運転を心掛けましょう。
- ・運転中に危険を感じたら、ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどに避難し、天気のリcoveryを待ちましょう。

吹雪視界情報ポータルサイト

PCから

吹雪 視界

検索

スマートフォンから



携帯電話から



詳細 寒地土木研究所雪氷チーム ☎841-1746

もしも車が立ち往生したら

吹きだまりにはまって、車が動かなくなったとき、気を付けるべきは一酸化炭素中毒と避難途中の凍死です。まずは救助を求め、命を守るために状況に応じた適切な行動をとりましょう。

ポイント

- ・JAF【#8139】などのロードサービスに救助を求めましょう。
- ・見える範囲に避難できる場所や人家があれば、車を置いて避難しましょう。
- ・避難できる場所や人家がない場合は、消防【119】や警察【110】、道路緊急ダイヤル【#9910】に連絡し、車のそばを離れずに救助を待ちましょう。
- ・救助を求めるときはできるだけ正確に位置を伝えましょう。
- ・ハザードランプをつけ、停止表示板を置いて、車が目立つようにしましょう。

避難できる場所がない場合

車から離れず、救助を待つ原則、エンジンを切る

エンジンをかけるときは、一酸化炭素中毒を防ぐため、窓を少し開けておく



避難できる場所がある場合

車中に連絡先のメモなどを残しておく

